

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2022年1月20日(木)15:30~17:00

懇談会

※話題の内容は予定ですので、変更する場合がございます。

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

## 2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

## 3. 特別展「邂逅する写真たち——モンゴルの100年前と今」

[詳しくはこちら](#)

100年前のモンゴルと現在のモンゴルが時空を越えて本館で出会う、体験型の「写真展」です。外国の探検家たちが写した100年前のウランバートルは、大活仏の座する宗教都市の姿でした。一方、現代の首都の素顔を気鋭のモンゴル人写真家が映し出します。大草原と遊牧民とは異なるもう一つのモンゴルとの出逢いです。

会 期：2022年3月17日(木)～5月31日(火)

会 場：国立民族学博物館 特別展示館

観覧料：一般 880円(600円)、

大学生 450円(250円)、高校生以下 無料

※( )は20名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



— 島村 一平 (学術資源研究開発センター 准教授) —

## 4. 企画展「焼畑——佐々木高明の見た五木村、そして世界へ」

焼畑は、森の一部を伐採・火入れをして耕作したあとに森にもどす循環型の資源利用です。このため、植生の違いに応じて山菜やタケノコの採集、イノシシの狩猟などもともないます。ここでは、佐々木高明の調査した五木村の焼畑を中心にして、日本の焼畑、世界の焼畑を紹介することから現代社会のなかでの焼畑の持つ意義について考えます。

会 期：2022年3月10日(木)～6月7日(火)

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場

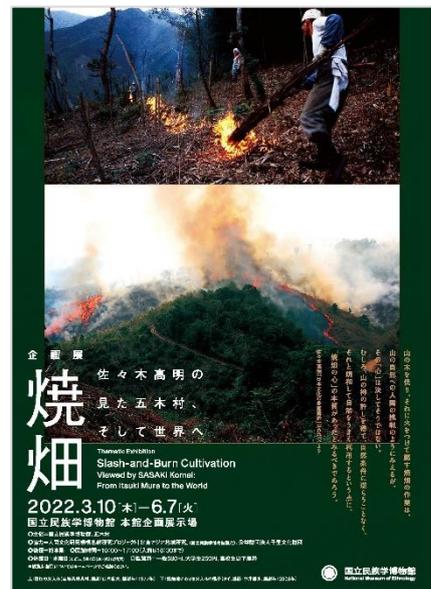
観覧料：一般 580円(490円)、

大学生 250円(200円)、高校生以下 無料

※( )は20名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授) —

## 5. 公開講演会「イメージの脈動にふれる」

イメージは、人の制御を超えて生成、変化し、世界を形づくります。また、時空を超えて脈打ち、様々な媒体を通して顕現し増殖します。人間の感覚、あるいは感覚を超えて生成されるイメージの主体性を捉え、知や学問のありかたを考えます。

日時：2022年3月25日（金）18：30～21：00

（開場17：30）

会場：オーバルホール

（大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社ビルB1）

主催：国立民族学博物館、毎日新聞社

定員：180名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料

※手話通訳有り



— 末森 薫（人類基礎理論研究部 助教） —

## 6. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

### 『音楽の未明からの思考 ミュージッキングを超えて』

（野澤豊一・川瀬慈 編著／アルテスパブリッシング）



— 川瀬 慈（人類基礎理論研究部 准教授） —

※その他の配布資料 刊行物報告書(資料6)



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp